

腔式骨盤臓器脱手術 患者さんパスシート (No.1)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院 1 日目 (手術前日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術や麻酔の目的について理解しましょう。 入院生活について理解しましょう。 手術に伴う転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。 麻酔の説明について不明な点は医師や看護師に伝えましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 入院後、体温や血圧を測り採血や診察があります。診察時に残尿測定を行います。 診察後、24時間尿漏れテストを行います。 麻酔科の診察があります。予約制となっているため時間をお知らせします。麻酔科の問診票を記入し、麻酔科受診時にお持ちください。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が手術部位の不要な毛を切毛します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 午前中の手術の方は、21時より食事、飲水ができません。 午後に手術の方は、21時より食事ができません。 お茶か水は翌朝の8時まで摂取可能となります。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。院内歩行可能です。(院内を30分以上離れる場合はお申し出ください。)
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。切毛した後にシャワーに入りましょう。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 持参された薬は薬剤師が内容を確認しますので看護師にお渡しください。 下剤を毎食後と寝る前に内服します。 眠れない場合には睡眠薬をお渡しします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術について医師から説明があります。 入院生活・手術について看護師が説明します。不安なことがありましたら看護師にお尋ねください。 医師から説明を受けた後、手術書類にサインをして看護師にお渡しください。 手術で必要なものを準備していただきます。 ① 浴衣 ② パスタオル ③ T字帯 ④ 大きめのナプキン1枚 ⑤ 弾性ストッキング (⑤は病棟にてお渡しします) ⑥ シルキーボア7cm幅のもの (肌が弱い方のみ)

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腔式骨盤臓器脱手術 患者さんパスシート (No.2)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
年	月		日		

月日	/
経過	入院2日目（手術当日：手術前）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">手術にむけて準備しましょう。
排泄	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。
観察	<ul style="list-style-type: none">起床時に検温をします。
食事	<ul style="list-style-type: none">午前中に手術の方は、引き続き食事・水分は摂れませんがうがいをすることができます。午後に手術の方は、朝8時まで飲水（お茶か水）は可能です。
活動	<ul style="list-style-type: none">手術室へ移動します。義歯、貴金属類は全て外し、浴衣に着替えます。血栓予防のためのストッキングを着用します。
治療	<ul style="list-style-type: none">朝の内服は医師の指示に従ってください。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">貴重品は金庫に入れてください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腔式骨盤臓器脱手術 患者さんパスシート (No.3)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院2日目（手術当日：手術後）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">• 身体の苦痛がある時は我慢せずに看護師に伝えましょう。• 転倒転落に注意しましょう。
排泄	<ul style="list-style-type: none">• 排便はベッド上で差し込み便器を使用して行います。• 排尿は尿の管を挿入して帰室します。
観察	<ul style="list-style-type: none">• 尿の状態（排泄量）を観察します。• 足の動きが良好か、しびれの有無、感覚の状態を観察します。• 痛みの程度を観察します。• 創部の状態を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none">• 食事・水分は摂れませんがうがいをすることができます。 看護師が介助させていただきますので、お声かけください。
活動	<ul style="list-style-type: none">• ベッド上安静となります。（体を横向きに変えることができます。）• ベッドを90度まで徐々に上げることができます。
治療	<ul style="list-style-type: none">• 酸素マスクを装着します。• 血圧、脈拍、体温、呼吸状態を1時間毎に測定し、「観察」に挙げている内容を確認します。• 足に血栓を予防する機械を装着します。• 点滴を行います。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">• 痛みや吐き気など症状に合わせて、薬を使用します。 遠慮なく看護師にお伝えください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腔式骨盤臓器脱手術 患者さんパスシート (No.4)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院3日目（手術後1日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。看護師の介助のもと歩きましょう。転倒転落に注意しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none">起床後に採血をします。
排泄	<ul style="list-style-type: none">歩行ができれば尿の管を抜きます。便秘気味な方は看護師にお伝えください。 ※排便時に力んでしまうと出血を助長することがあるため、整腸剤を処方することがあります。
観察	<ul style="list-style-type: none">血圧と体温を測定します。尿の状態（色・量・性状）を観察します。足の動きが良好か、しびれの有無、感覚の状態を観察します。痛みの程度を観察します。創部の状態を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none">腸の動き、吐き気などの症状を観察し、問題がなければ朝から飲水が可能になります。朝食より食事（お粥）が開始となります。昼食からは常食となります。 ただし、手術操作により直腸に傷ができた場合は医師の指示があるまで禁飲食となります。
活動	<ul style="list-style-type: none">看護師の付き添いにて歩行を開始します。状況に応じてその後も付き添い歩行をします。
清潔	<ul style="list-style-type: none">看護師が介助してお身体を拭きます。
治療	<ul style="list-style-type: none">持参薬の開始については、看護師からお声かけします。歩行ができれば血栓予防の機械を外します。痛みなど症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせください。点滴があります。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">痛みや気分不快があれば、看護師にお伝えください。早期の回復やお腹の動きを良くするため歩行が大切です。少しずつ活動範囲を広げていきましょう。術後は体力の低下や痛みにより転倒しやすい状況となっています。歩行時は自分のペースで転倒しないように歩きましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腔式骨盤臓器脱手術 患者さんパスシート (No.5)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院4日目（手術後2日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">痛みがある時や気分が悪い時は看護師に伝えましょう。動く時間を増やしましょう。尿の管を抜いた後の排尿を確認しましょう。転倒転落に注意しましょう。
排泄	<ul style="list-style-type: none">排便時強く力まないようにしましょう。創部にガーゼ（腔ガーゼ）が入っている場合、医師が抜きます。
観察	<ul style="list-style-type: none">体温と血圧を測定します。尿の状態（色・量・性状）を観察します。足の動きが良好か、しびれの有無、感覚の状態を観察します。痛みの程度を観察します。創部の出血がないかを観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。
清潔	<ul style="list-style-type: none">シャワー浴が可能となります。
治療	<ul style="list-style-type: none">痛みなどの症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせください。抗生剤の点滴があります（朝食前と夕食後）。終了したら針を抜きます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">腹圧がかかるような行動は創部に影響を及ぼし、メッシュの脱落や出血に繋がる可能性があるので気を付けましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腔式骨盤臓器脱手術 患者さんパスシート (No.6)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院5日目（手術後3日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">尿の管を抜いた後の排尿を確認しましょう。痛みがある時や気分が悪い時は看護師に伝えましょう。動く時間を増やしましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none">起床時に採血を行います。排尿後に尿の管を入れて残尿がないかを確認します。
排泄	<ul style="list-style-type: none">排便時に強く力まないようにしましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none">尿の状態（色・量・性状）を観察します。痛みの程度を観察します。創部からの出血がないかを確認します。
食事	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。院内歩行が可能です。病棟を30分以上離れる際はお申し出ください。
清潔	<ul style="list-style-type: none">シャワー浴が可能です。
治療	<ul style="list-style-type: none">痛みなどの症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせください。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">腹圧がかかるような行動は創部に影響を及ぼし、メッシュの脱落や出血に繋がる可能性があるため気を付けましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腔式骨盤臓器脱手術 患者さんパスシート (No.7)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院6日目～8日目（手術後4～6日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">発熱がなく全身状態が安定していること、お小水が出ることを確認しましょう。退院後の生活の注意事項について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none">退院診察があります。術後5日目に、排尿後に尿の管を入れて残尿がないかを確認します。
排泄	<ul style="list-style-type: none">排便時に強く力まないようにしましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none">尿の状態（色・量・性状）を観察します。痛みの程度を観察します。創部からの出血がないかを確認します。
食事	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。院内歩行が可能です。病棟を30分以上離れる際はお申し出ください。
清潔	<ul style="list-style-type: none">シャワー浴が可能です。
治療	<ul style="list-style-type: none">痛みなどの症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせください。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">退院後の外来診察日について説明します。保険などの書類は退院日に本館1階の中央受付Aに提出してください。ただし、文書受付窓口は日曜・祝日は受付できません。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

退院後の生活について

- ①退院後は家庭内での生活は普段通りに送ることができますが、次回の外来までは自転車、運動などでかんだり、腹圧のかかる動作は控えましょう。
- ②食事は特に制限はありませんが、暴飲暴食は避け、規則正しくバランスのとれた食事を心がけましょう。
- ③傷に貼っているテープは、次第に剥がれてくるので無理に剥がさないようにしましょう。シャワー浴の時は傷を強くこすらずに、泡を立ててやさしくなでるように洗いましょう。※退院後は次回外来までは、感染予防のためシャワー浴のみになります。外来時の状態を診て、医師より湯船に入っているかの許可がでます。
- ④手術後は腸の動きが鈍くなり便秘になりやすいため、適度な運動を行い繊維質の物を多く取るようにしましょう。
- ⑤性生活は次回外来までは禁止です。受診時に医師に確認しましょう。
- ⑥内服薬は入院中と同じように内服してください。退院後に始まる薬がある場合は退院時にお伝えします。

* 緊急時の対応 *

- 38度以上の熱が出る
- 強い腹痛がある
- お腹が張って吐き気が強い
- 通常の生理以上の出血がつづく

上記のような症状がある時は早めに受診してください。
不明な点等がありましたら、医師・看護師にご相談ください。

連絡先

日本医科大学付属病院（代表）
女性診療科外来（内線）

03-3822-2131
3311、3312